

2 駅併設の新図書館について

(1) 図書館を研究対象に選んだ理由



小矢部市の玄関口であり、市の顔でもある石動駅がリニューアルされ、平成30年11月から新駅舎の供用が開始されました。駅南から駅へ直接アクセスできるようになった南北自由通路や、メルヘン建築を象徴するレンガ調の外観は、利便性の向上と駅を中心とした賑わいを創出する施設として期待されており、今年3月26日に開館を予定している新図書館へも注目が集まっています。



また近年、図書館は大きく変化し始めており、単純に本を貸し出す場所としてだけでなく、人と人を繋げる場としてや、市民の課題解決の手助けの場、地域を支える情報拠点としてシフトし始めています。

こうした流れがある中で、他市の図書館や公共施設の調査を通して「市民と図書館の理想的な関係性」を研究し、新図書館への希望や期待を形にしてみたいと思いました。

(2) 旧市民図書館の見学・意見交換会について

■ 見学実施日 平成 30 年 9 月 6 日 (木) 午後 7 時～



【旧市民図書館】



【旧市民図書館へ見学】

研究を進めるに際して、私たちはまず旧市民図書館の見学を行いました。見学では予算や本の管理体制といった施設概要や、市民の利用率・年齢層といった利用状況、新図書館の構想などもお聞きしました。

■ 図書館の現状

○小矢部市民図書館 … 昭和 48 年 12 月に総合会館（城山町 1-1）3 階に開館

○小矢部市民図書館おとぎの館図書室 … 平成 9 年 5 月に開館

○津沢コミュニティプラザ図書コーナー … 平成 15 年 4 月に開館

（平成 30 年度図書館概況）

蔵書総数	148,668 冊
開館日数	294 日
来館者数	104,126 人
有効登録者数（※）	6,606 人（人口に占める割合 22.02%）
個人貸出冊数	125,951 冊（市民 1 人あたり 4.20 冊）
平成 30 年度決算	37,509 千円（新図書館整備事業費は除く）

※有効登録者…平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間に貸出をした登録者

■ 図書館司書が新図書館に込める思い

- ・ 駅と併設になるので「図書館がどこにあるのか」が分かりやすくなり、駅利用者による図書館利用増を見込むことが出来る。これまでのサービスは続けたうえで、場所が変わることで生まれる新しいニーズに対応し、皆にとって魅力的な図書館にしたい。
- ・ 新しいニーズでいうと、通学で駅を利用することの多い高校（石動高校）との連携が挙げられる。乳児期の子供達を対象にしたブックスタート事業や、小学校の子供達を対象にした読み聞かせなどはこれまで行ってきたが、高校との連携は難しかった。学校と連携し、学生のニーズを把握するなどして、長く続く繋がりをつくりあげたい。
- ・ 運営に関しては開館時間の変更や、什器等の配置がおおよそ決まっているなど、現時点である程度の構想はできている。利用者増が見込まれているため、人員等も増やせたら良いと思っている。

■ 見学後の委員の感想

旧図書館の見学後、委員同士で率直な意見交換をしました。

- ◎ 図書館の印象について、良くも悪くも、昔と今で大きな変化を感じない。
- ◎ 大きく印象を変える取組みを行えば利用者増につながるのでは？

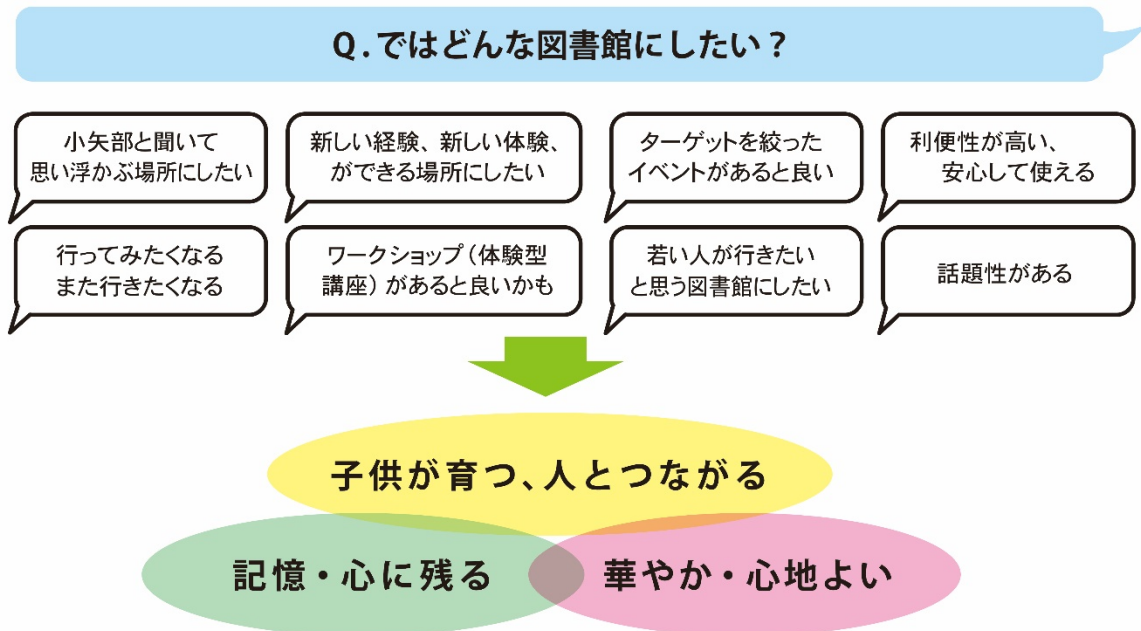
- ◎ そもそも本屋・書店等へは気軽に行けるのに、図書館はなぜ行きづらいのか？
- ◎ 「話せない・長居しづらい」など、図書館ならではの窮屈さを感じるため？
- ◎ 昼は人が少なく、他の利用者や職員の視線が気になるのでは？

- ◎ 図面や什器の構想が確定しており、設備に係る提案は難しいのでは？

意見を集約した結果、新図書館では今まで行ったことがないようなアプローチが必要と考えましたが、一方で私たちの活動開始時点では既に什器や設計等の計画が固まっていたため、現状を確認した上で、実現可能な取組みを提案する方針で活動を進めることとしました。

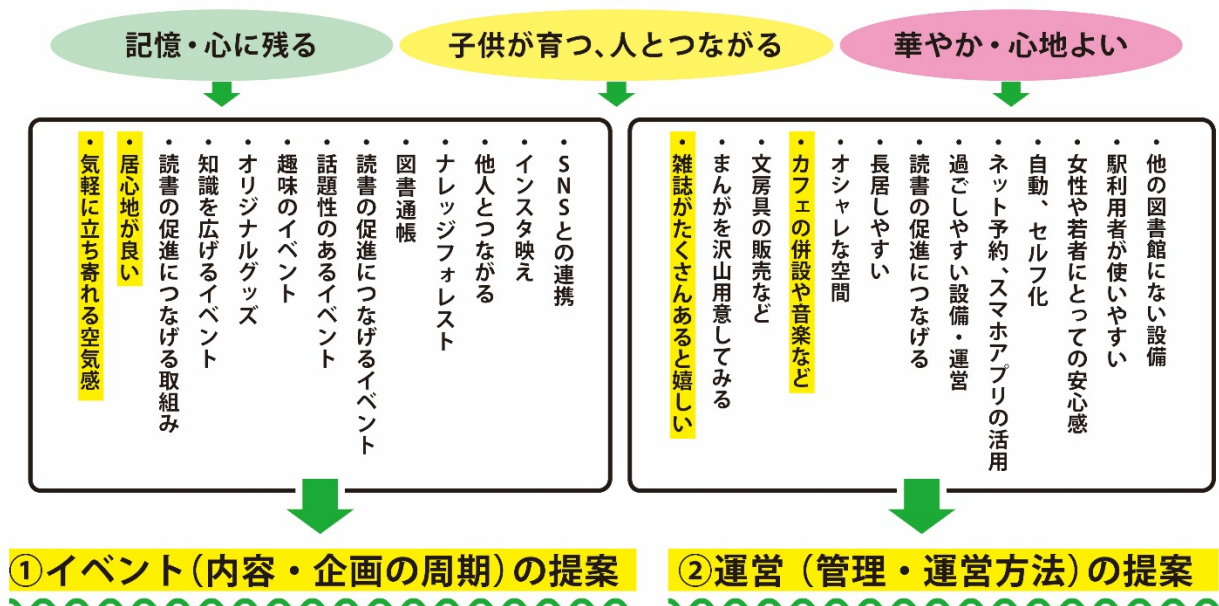
■意見交換から見えてきた方向性

見学での感想を基に、「では、どのような図書館にしたいか？」というテーマで意見交換を行い、出てきた意見から提案の方向性を「子供が育つ、人とつながる」「記憶・心に残る」「華やか・心地よい」の3つにまとめました。



さらに、この3つの方向性からイメージされる「新図書館に求めるもの」についてブレインストーミングを行い、アイデアを整理してみました。

その結果、①イベント（内容・企画の周期）と、②運営（管理・運営方法）の2つの分野から調査・研究を進めることが決まりました。



(3) キャッチコピーの設定

「行こっか、図書館。」

話し合いを進める中で、「こんな言葉が自然と出てくる図書館にしたいね。」という会話が生まれ、それを基に、この「行こっか、図書館。」がキャッチコピーに選定されました。新図書館に抱く想いや期待を一言で表現したこのキャッチコピーは委員全員が共感し、満場一致で採用されました。

ただ、このキャッチコピーを設定した話し合いの時点では、まだ漠然としたイメージでしか新図書館の提案と結び付いておらず、ここから更に「キャッチコピーの定義」や「提案内容への具体的な関連付け」といった考察が必要だと感じました。

そこで、新しい取組みを積極的に行う先進地の視察を通して、それらを見出すために必要な視点を学ぶことにしました。

(4) 先進地視察について

■視察

図書館の現状と課題を鑑み、先進地視察として、富山県内では立山町立立山図書館と舟橋村立図書館に、県外では福井県福井市（ハピリン、EKIMAE MALL）、岐阜県各務原市（KAKAMIGAHARA OPEN CLASS）岐阜県岐阜市（みんなの森 ぎふメディアコスモス）に視察に行きました。

<視察①>

立山町立立山図書館

視察日：平成31年2月26日（火）



<立山町立立山図書館概要>

立山図書館は、複合施設「立山町元気交流ステーション（みらいぶ）」内にあります。みらいぶは、立山町健康福祉課・保健センター、立山町社会福祉協議会など保健福祉の総合的な機能を集約し、図書館や町民交流センターなど、暮らしに役立つ公共施設と富山地方鉄道五百万石駅が一体となった施設です。



<図書館入り口>



<1階フロア>



<2階フロア>



<個人用テーブル>

<特徴的な取り組み>

子ども講演会、自動貸し出し機、交流サロン、雑誌付録抽選会、ブックポストと本のリサイクル市、読書通帳 など

<視察②>

舟橋村立図書館

視察日：平成31年2月26日（火）



<舟橋村立図書館概要>

舟橋村立図書館は富山地方鉄道舟橋駅併設の図書館であり、目の前には村外居住者にも開放しているパーク&ライド方式の駐車場があります。

経営方針に①滞在型図書館、②情報発信基地としての図書館、③広域サービスの3つを掲げているため、村外居住者の利用率も高く、村民一人当たり換算した貸し出し冊数が日本一となっています。

また、「親子が楽しめるマンガの収集・提供」や「村の資料センターとしての機能」、「地域コミュニケーションの場の提供」といった運営上の特徴も見られました。



<1階フロア>



<2階フロア>

<特徴的な取り組み>

床暖房のため靴を脱いでの利用、小中学校との連携、外国人絵本のお話し会、絵本「カモシカとしょかん」の出版 など



<カモシカとしょかん>

<視察③>

福井県福井市

ハピリン、EKIMAE MALL

視察日：令和元年8月20日（火）



<ハピリン、EKIMAE MALL（駅前モール）概要>

ハピリンは、JR 福井駅西口に立地している商業・住宅・多目的ホール・自然史博物館分館等を備えた再開発ビルです。JR 福井駅から商店街につながる賑わいの軸を強化し、中心市街地全体の賑わい創出に役立っています。

EKIMAE MALL は、福井駅前を民間の力で盛り上げようと活動している、完全民営のまちづくり会社です。自由参加型の共同販促を推進し、商店街活性化を目指す団体の立ち上げや、各種イベントの開催、駅前情報を集約したフリーペーパーの発行など、駅前の賑わいづくりに尽力しています。

<視察④>

岐阜県各務原市

KAKAMIGAHARA OPEN CLASS

視察日：令和元年8月19日（月）



<KAKAMIGAHARA OPEN CLASS（かかみがはらオープンクラス）概要>

KAKAMIGAHARA OPEN CLASS はイオンモール各務原内に設置され、各務原市への移住定住を考える方に向けた暮らしの情報を発信する移住定住相談窓口です。窓口では市内の不動産事業者と連携した移住定住のための住まい探しのサポートや、ハローワークと連携した就業に関する情報提供を行っています。また、市内に住む方・市内で活躍する方を招いてのワークショップやトークセッション、展示会などを定期的に行っており、各務原での暮らしや働くことのヒントや市の魅力の情報発信の場にもなっています。

<視察⑤>

岐阜県岐阜市
**みんなの森
ぎふメディアコスモス**

視察日：令和元年8月19日（月）



<みんなの森 ぎふメディアコスモス概要>

みんなの森 ぎふメディアコスモスは、「知の拠点」の役割を担う岐阜市立中央図書館、「絆の拠点」となる市民活動交流センター、多文化交流プラザおよび「文化の拠点」となる展示ギャラリー等からなる複合施設です。

中央図書館では岐阜の山々の稜線を思わせる形状の木造格子屋根から、それぞれのエリアをやさしく包み込むグローブがつり下げられ、その中は明るく快適な空間となっています。グローブを中心に渦を巻くかのように配置された書棚は来館者を本の森へと誘います。



■現代的な建築デザインの当施設の天井を建物内から見上げると、木製格子屋根が美しく広がっています。この木製の格子状の屋根はただの仕上げ材ではなく構造材として働いており、素材には岐阜の県産材である「東濃ひのき」が用いられています。



■掲示板で司書の方と悩み相談をしたり、ネコ型のカート（にゃん吉）を設置するなど、どこを見ても飽きません。

■ 視察の風景



■視察を通しての考察

<視察の中で見えてきたもの>

様々な先進地の視察を通して、この研究の提案に欠かせない、次の3つの視点を見出すことができました。

▶「シビックプライド (Civic Pride)」

→地方にあるからこそその魅力について考えていく必要があります。新図書館は市民の誇りとなるような図書館にしたいです。

▶「民間との連携」「ハードは公、ソフトは民」の観点は多くの施設に共通

→まち研のように、民間と公的機関が意見を交わせるような場を設けることの重要性を再認識しました。

▶メディアコスモスはまさに理想とする図書館

→メディアコスモスでは「デートで使いたくなる図書館」や「悩み相談ができる図書館」など、図書館にこれまでに無い新たな価値を生み出していました。
ソフト面の工夫をすることで、新図書館もその魅力に近づけられるのではないのでしょうか。

これらの視点に、「提案の方向性」「キャッチコピー」を合わせたことで、提案テーマを「図書館から広がるおやべの生活」とすることが決まりました。

+

+

子供が育つ、人とつながる

記憶・心に残る

華やか・心地よい

「行こっか、図書館。」

【提案の方向性】

【キャッチコピー】



提案テーマ「図書館から広がるおやべの生活」

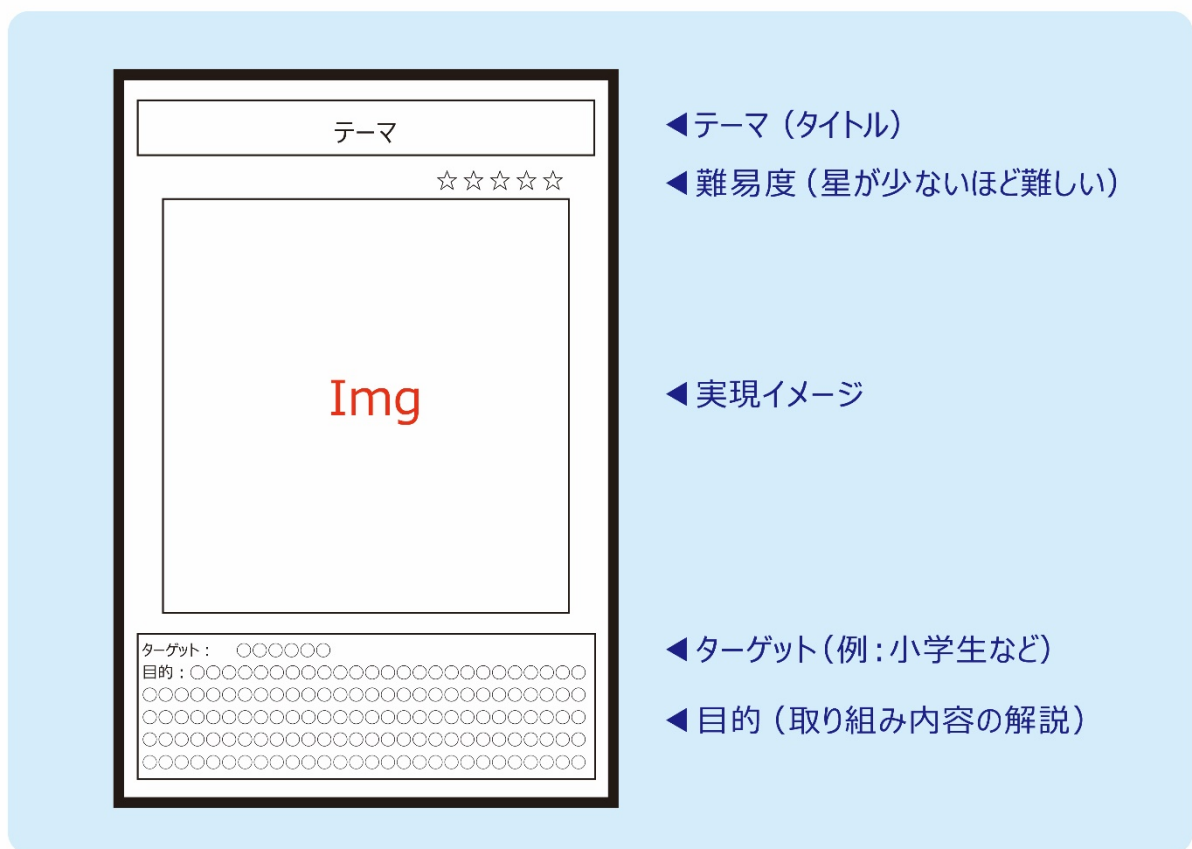
(イベント、運営の提案)

(5) 新図書館への希望・期待を形に

決定した提案テーマを基に、5人の委員それぞれが提案したいアイデアを各10案(計50案)作成しました。そして、重複した案の統合やブラッシュアップ等を行い、15案まで厳選しました。

さらに案の作成にあたって、わかりやすく、見やすく伝えるため、カードゲームのようなフォーマット(図1)を作成し、15案のアイデアを当てはめました。

図1



演劇と本、音楽と本

★★



ターゲット：幼児、高齢者

協力：メルヘン劇団、石動中学校、石動高校

目的：演劇や音楽を通して、本を五感で楽しめるイベント。本の解説や解釈を学ぶ講義などを交えることで、作品の内容を深く知ることができる。

自由研究講座

★★★★

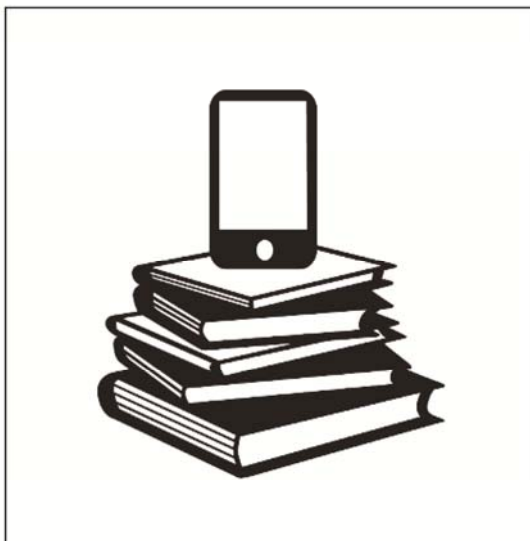


ターゲット：小学生

目的：近隣の高校生の協力のもと、自由研究に困っている小学生に高校生アドバイザーが自由研究のアドバイスをする。高校生が小学生から、自由研究にやりたいことをヒヤリングし、適切に選定、提案、実行する。

図書館アプリ、図書通帳の作成

★★



ターゲット：小中学生、本をよく読む人

目的：【図書館通帳】…専用端末に通帳型の冊子を通すことで、自分の読んだ本のタイトルや貸出日を記録できる。【図書アプリ】…図書館通帳のように読んだ本や貸出日の可視化や、「イベント情報」「新着図書案内」「おすすめ図書の配信」「本の検索や在庫状況」の情報を確認できる。イベントとの連携や、逆にアプリを活用したイベントなども実施可能。

図書館レストラン(カフェ)

★★★★



ターゲット：全年齢対象

目的：1日限定で休館にしたり、専用のブースを設置したりするなどして「本+α」のイベントを企画する。（例☑コーヒーの本や料理の本、地産地消を目的とした地元の食材などを提供するイベントを企画）

おとまり図書館

★



ターゲット：小学生とその保護者／小学生以下

目的：保護者と図書館に宿泊し、夜の図書館探検や図書館内での食事等特別企画を行う。小学生以下対象のものはお気に入りのぬいぐるみを一晩預かり、夜の図書館を楽しんでいる写真を見られるようにし、図書館や本に親しみを持ってもらう。

お父さんのためのお話し会

★★★★★

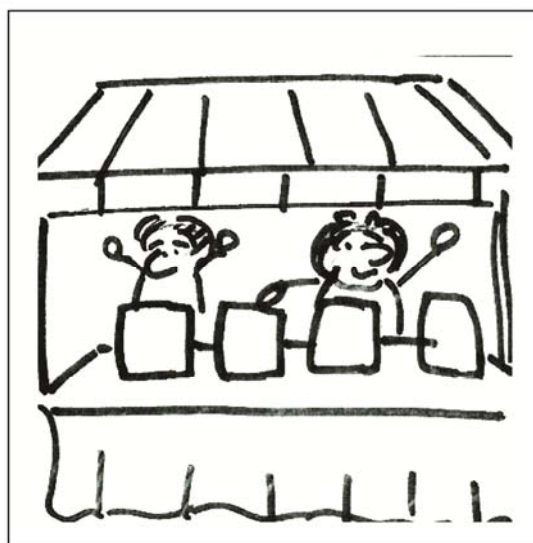


ターゲット：パパママ子ども、プレパパプレママ

目的：現在子育て中のお父さん、これから子どもの生まれるお父さんを対象に、子供への読み聞かせをレクチャーするお話し会。絵本の選び方や話し方等を読み聞かせボランティアから学ぶ。

ブックマルシェ

★★★★



ターゲット：本を売りたい人、本を買いたい人

目的：創作本の作家や、家に眠っている本を売りたい人が販売できるイベント。来館者に古本贈呈を募り、その売り上げを新しい本の購入やイベントに繋げる。図書館を利用しなかった人に来てもらうきっかけになる。

リサイクルポストの設置と図書の利用

★★★★★



ターゲット：通勤等の駅利用者、学生など

目的：市民の方がもう読まなくなった書籍を投函する専用ポストを設置する。回収した本は月 1 回のリサイクル市や、待合室への設置（持ち帰り・返却自由）などに再活用し、図書館で取り扱っていない本との出会いや、返却期限を気にせず楽しめる本の提供に役立てる。

図書館司書講座

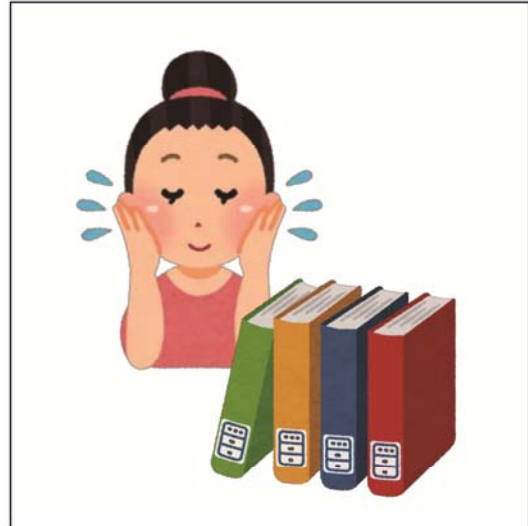
★★★★



ターゲット：小学4年生～中学3年生向け／高校生以上向け
目的：対象ごとに長期または1日限定で司書体験。貸出・返却等の基本的な事務や読み聞かせボランティア指導のもとでの絵本等の読み聞かせを实践し、図書館の仕組みや裏側、司書の仕事について興味をもってもらう。

図書館美容講座

★★★★



ターゲット：高校生以上
目的：化粧について学ぶ必要の出てくる春休み期間中に講師を呼び、今流行のパーソナルカラー診断を行い、似合う色味での化粧講座をあわせて実施。その中で美容や健康関連の本も紹介し、図書館や本の魅力を再認識してもらう。

豆本づくりワークショップ

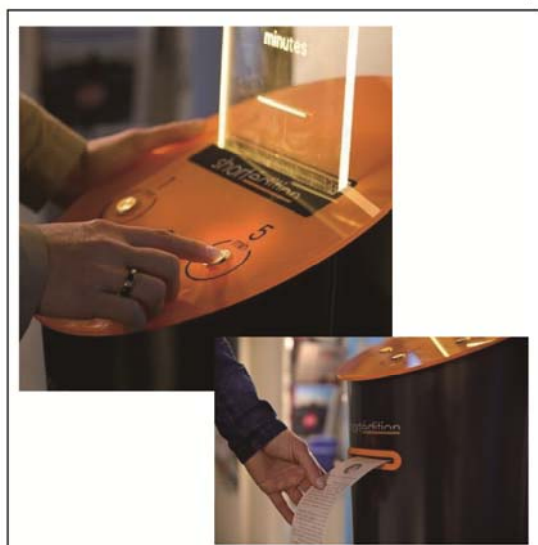
★★★★



ターゲット：小学生から大人まで
目的：手のひらに収まる程度の小さな豆本を作るワークショップ。普段手に取っている本の作り（製本）について、実際に作成しながら学ぶ。本をいつもとは違う視点から知ることができる。

通勤時間で読める短編図書を設置

★



ターゲット：通勤利用者、学生などの駅利用者
目的：フランスの「Short Edition」(レシート状の紙で読む、超短編小説自動販売機)を参考とする。駅のホームの待ち時間に読んでもらう短編図書を設置する。「1分」「3分」「5分」など時間ごとで分けて設置する。

返却袋の作成

★★★★



ターゲット：10歳～60歳といった広い世代を対象

目的：本を借りたとき専用の返却袋を作成する。レンタルビデオの返却バッグのように、返す日にちなどを記載・記入できると返却日などが分かりやすい。図書館オリジナルの返却袋を作るイベントなども企画してみてもいい。

防災宿泊体験 in 図書館

★



ターゲット：小学生

目的：公共施設に備蓄されている防災用品を使用した防災宿泊体験。「避難」を経験することで、防災に対する心構えや、防災を考えるきっかけ作りができる。また、施設に備蓄された消費期限の近い非常食を消費することができる。将来的に、消防署に協力を仰ぐことでより実践に近い防災宿泊体験を行う。

本返却 BOX の設置

★★



ターゲット：全年齢を対象

目的：学校や駅構内、地域内の企業等に返却スペース（返却BOX等）を設置し、本を返却しやすくすることで、図書館の利用率の向上につなげる。

(6) まとめ

今回、さまざまな視点・立場から「図書館から広がるおやべの生活」を実現するためのアイデア（イベント・運営）を提案しました。視察や調査研究を通して、同世代のメンバーと図書館について意見を交わす中で、新しい図書館への期待感が高まりました。

提案したさまざまなイベントや運営を、新図書館に取り入れていただき、私たちが抱いた「ワクワク」や「期待感」をより多くの人に抱いてほしいと考えています。新図書館が地域に根ざし、本を貸し出すだけの場ではない、新たな価値・魅力を創り出し、石動駅周辺の活性化の軸の一つとして小矢部市の魅力を向上させることを期待しています。

